



人づくり・学び舎 代表

浦井 啓子
 Urai Keiko

すべての人が「働く幸せ」
 を実感できる、
 そんな社会を実現したい

人 づくり・学び舎：代表の浦井啓子です。初夏の気持ちの良い風の吹く季節になりました。草木も一層青々と茂り、学校においても新しい環境でのザワザワした感じから少しずつまとまりある落ち着いた雰囲気の中で一層学びが深まる頃でしょうか。
 【人づくり・学び舎新聞】では、多くの方に「キャリア」や「キャリア教育」の意義と必要性を感じていただきたいという思いで、様々な観点から情報提供や活動内容の発信を中心に季刊発行しています。

キャリア教育コーディネーター × レポート

キャリア教育コーディネーター 2.0 の時代へ

仙台で行われた勉強会に参加して来ました。学習指導要領の改正など、まさに今、教育の世界ではいろんな変化・変容が加速度的におき始めています。最新の国の教育施策を学び、各地域のコーディネーターの現状と課題についての意見交換会に参加し、学びを深めてきました。

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会が設立して7年。認定キャリア教育コーディネーターの数は全国で 300 名強を数え、少しずつ活動の領域を広げながら、仲間を増やしています。しかし、社会的インパクトを与えるためにはその 10 倍、約 3000 名ほどの有資格者が必要だといいます。



数を増やし、かつコーディネーターとしての「質」も維持していくこと。その両方がこれからの社会の期待に応えていくために重要であり、また私たち自身も今後益々自己研鑽に励む必要性を再確認させていただく機会となりました。

キャリア教育コーディネーター

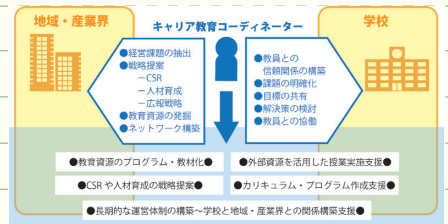
ネットワーク協議会

「キャリア教育総合情報サイト」

<<http://www.human-edu.jp/coordinator/exam>>



● キャリア教育コーディネーターとは



地域社会が持つ教育資源と学校を結びつけ、児童・生徒等の多様な能力を活用する「場」を提供することを通じ、キャリア教育の支援を行うプロフェッショナルである。

参考文献 経済産業省 (2000)「キャリア教育コーディネーター育成ガイドライン」<<http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/career-education/pdf/guideline.pdf>> (参照：2018/6)。

カウンセリングの手引き

Q. 学校におけるキャリアコンサルティングではどんなことをするのですか？

A. 学校において生徒や学生さんに対するキャリアコンサルティングと大人向けのキャリアコンサルティングで基本的な関わりの違いはほとんどありません。(生徒や学生さん相手の方が、やり方や調べ方を伝えたりすることが多いため、若干ティーチングが多めになる印象はあります。)あくまでもご本人のお気持ちや考え方を伺いした上で、なぜそう思うのか、そのためにどうしたら良いと思うかなど、ご自身の考えを深めるための質問をしながら行動を促すような関わりを行います。ポイントは「自分でもできそうだな」とご本人が思えるようになることです。

授業の1コマ ～キャリアをデザインする～

キャリア形成がテーマの授業では、キャリアをデザインするための時間を取ります。まず「キャリアとは何か？」について講義やワークを交えて理解を深めてもらった上で「キャリアをデザインするとは何か？」についての講義に移り、キャリアデザインの意味や意義を丁寧に伝えていきます。**キャリアデザインとは即ち「自分の人生を“主体的に、設計していくこと”です。**自分自身のキャリア（生き方・働き方）をどのように築いていきたいのかについて、**まず自分自身で考えること。目的・目標を立てること。目的・目標を達成するための計画を立て、自律的に実行していくこと。**これら全てがキャリアをデザインするということであり、**主体的自律的に生きるための大切な一歩となります。**



活動報告

「進路セミナー」 様々な職業・生き方を学ぶ

富山県立福野高校

講師：片山諭志（書家）

「【職業：書家】と聞いて、どんな働き方を思い浮かべるでしょ

うか？みんながなんとなくイメージする書家という概念は一旦横に置いて、話を聞いて欲しい」

講話は、こんな一言からスタートしました。

これまでの活動や、今行っている活動紹介を通じて

- 仕事をする上で大切にしていること
- 仕事のやりがい
- 仕事の難しさ

について語りました。



美術部、書道部など、自分たちで表現することを大切にしている生徒さんが多く集まっていたこともあり、質問も具体的だったことが印象的でした。

- 表現する者として、自分自身の表現に迷った時にどうしているのか？
- 今後はどのような活動をしていきたいと思うのか？
- 公務員を辞めて、書家になろうと思った時、家族は反対しませんでしたか？



さらに生徒さんから

「片山さんのお話を聞いていると、肩書きは「書家ではなく、表現者」なのではありませんか？」

という質問に対して、片山は

「そう思っています。ただ、一般の方にも自分の活動を分かりやすくするために、あえて「書家」と名乗っています。」

と答えました。

質疑応答も、高校生ならではの鋭い視点の質問がたくさんあり少人数でしか体験できない濃密な時間となりました。

講師近況紹介

経験ゼロから筆を持ち、言葉を書き始めてから9年が経ちました。その間、県内外・海外までも足を伸ばしさまざまなイベントやお祭り、店舗、百貨店などで多くの方々に「あなたを見て感じた言葉」を書かせて頂きました。

経験も無い中、公務員を退職までして筆を持ち始めたのは、自分はこれがやりたいという心の声を感じたから。そして、世の中の常識の中で流されて生きるのでは無く、自分の人生を歩みたいと思ったからです。

ここ近年は、大きな作品にも取り組み個展の開催や海外（NY・香港・ドバイ）での出展等もさせて頂けるようになりました。そのように今までに無い貴重な経験を積み重ねていく事が何よりの学びと成長になるといつも感じています。

今後も見聞を広め、学びと成長を繰り返しながら世の中に少しでも貢献できるような作品を生み出せたらと思います。

（片山諭志）



Information

【道Project】では、講師派遣を行なっています。

学校などの趣旨に合わせてご希望の講師を選んで頂き、授業・学年集会・PTA 活動、各種組合団体、会社などに講師を派遣いたします。スケジュールやご予算など、気軽にご相談ください。

様々な職業の大人が講師となりそれぞれが歩む道（仕事）についての内容、そこに懸ける思い、志、あり方などを授業・講演を通じて広く伝えます。

進路を考え始める年齢の生徒や学生たちに新しいきっかけや価値観を提供することが私たちの願いです。